



もみじ台まちづくり会議 報告



◇地区計画改正の取り組みについて◇

昨年から約2年をかけて検討してきました、もみじ台戸建地区の地区計画について、もみじ台対象世帯約2,000戸に、下記の改正案について各戸別に意見を求めました。その結果、全面的に賛成の方や好意的な意見が大半でしたが、共同住宅や寄宿舍などは、騒々しくなり反対という意見も一部ありました。これらの意見を踏まえ、7月22日、地域の関係機関が集まり、まちづくり会議で議論しました。結果、下記の改正案を地域からの要望として市当局に提出することが決定されました。

【現在の地区計画で立てられる建物】

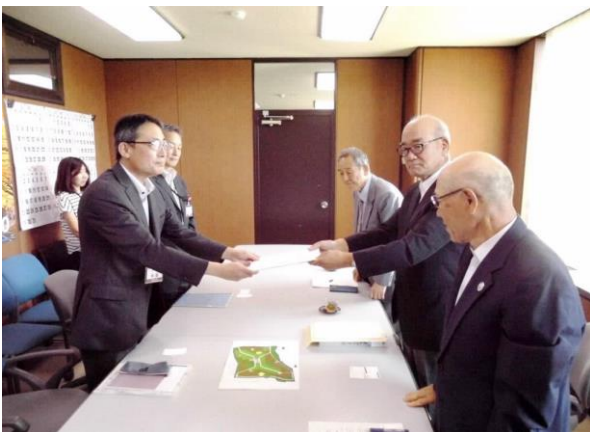
- 専用住宅
- 兼用住宅で学習塾、華道教室、囲碁教室
- 老人ホーム、保育所、身障者福祉ホーム



【改正案(現在の用途に以下を加える)】

- 長屋形式の二世帯住宅(二戸長屋)
- 兼用住宅に以下を加える
事務所、喫茶店、アトリエ、工房
- 共同住宅、寄宿舍、下宿
- 集会所

◇札幌市へ要望書の提出◇



▲要望書を手渡す東議長（右）

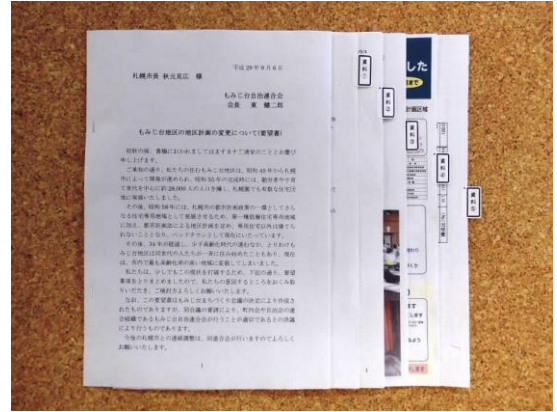
平成29年9月6日、まちづくり会議の東議長、高澤副議長、野村副議長が札幌市役所を訪れ、秋元克広札幌市長に、要望書を提出いたしました。

要望の窓口であるまちづくり政策局の中田都市計画担当局長からは、

- ① もみじ台の皆さんが自分たちの住みやすい環境について、若い人たちも住みやすい街に変えてほしいという要望を

住民自らまとめたことは素晴らしい。

- ② 市としては、要望書を重く受け止め、なるべく早く結論を出したい、との回答を得、今後、札幌市に検討を委ねることになりました。※要望書の写しは、もみじ台まちづくりセンターで閲覧できます。



▲提出した要望書及び資料

◇厚別区選出市議会議員団に協力要請◇

続く9月20日、上記のまちづくり会議のメンバーが、厚別区選出の市議会議員団に対して、今回の地区計画の改正要望に至った経緯や理由を説明し、同改正要望の内容について理解と協力を求めました。



出席議員からは、

- ① 素晴らしいもみじ台の取り組みである。議員団としても全面的にバックアップしたい。
- ② 後日、市の理事者との意見交換や議会での議論の場を通じて、要望の実現に向け積極的に取り組んでいきたい。

とのお話をいただきました。



◇まとめ◇

“若い人や子育て世代の人たちに、たくさん住んでほしい”、“昔のように活気のある街にできないか”との声が、今回の地区計画の変更を要望する上で力になったことは、大変意義のあることでした。一方で、事務局としては、今までの閑静な住宅街の保全と、地域の活性化への取り組みとを、いかに調和させるのかが大きな課題となりました。また、時代は徐々に変化していきます。行政の施策を待つのではなく、時代に取り残されないよう、住民自らが考え行動することが大切であることを、今回の地区計画の改正要望を通じ考える機会ともなりました。

もみじ台には、まだまだ課題があります。もみじ台まちづくり会議に、皆さんの率直なご意見をお寄せください。



▲まちづくり会議総会 (H29.7.22)